



群馬イノベーションアワード入賞 産学官連携のものづくり



(株)アドテックス

代表取締役 佐藤 弘男 氏 (高崎支部所属)

Q & A

▼会社概要

昭和六十三年、計測制御ソフトの開発を主力として設立。その後、産業用エレクトロニクス分野の開発・製造、OEM品の受注へも対象を広げていきました。

平成九年に、自社の技術を整理したところ、自動制御分野の開発を最も多く手掛けていました。そこで、この分野に絞ってコア技術化。研究開発型企業として産学官連携を進め、各種産業機器を開発してきました。

同年三月、中小企業創造活動促進法の認定企業になり、その年の十一月には「群馬県創造的中小企業創出支援事業」の適



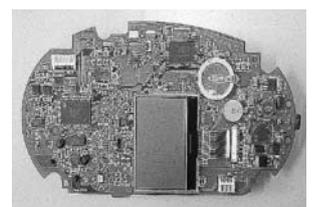
用第一号に選定。群馬のベンチャー企業第一号になりました。その対象となった技術が、高精度制御が可能な現代制御技術の特許や独自のアドバンスドPID制御です。

今では、この「高精度自動制御技術」と「微小信号処理技術」を当社のコア技術として①ME(メデイカルエレクトロニクス)機器、②半導体関連機器、③FA(ファクトリ・オートメーション)機器の開発を進めています。

▼産学官の取り組み

平成十四年から、ほぼ毎年様々な産学官連携事業に参画しています。平成二十二年には福島県立医科大学と産学官連携プロジェクト「医療工学講座」をスタートさせました。また、平成二十四年には関東経済産業局の「農商工等連携事業計画」に取り組み、各分野で自社の技術を駆使した開発を進めています。

一方、個人も、去年の三月に山形大学大学院理工学研究科のMOT(技術経営学)を修了しました。それは、自社が目指す技術開発型企業は、技術者の能力を最大限発揮させるマネージメント能力が要求されます。私は自分のマネージメント能力



に限界を感じていて、もう一度理論的なものを学び直す必要があると判断したためです。

大学のある山形県は非常に遠く、通うのは大変でしたが、知らないことの多さに気付く事が出来ました。修了後は、「リセットした、新たな気持ち」でマネージメントに取り組んでいます。

▼群馬イノベーションアワード入賞について

本当にたくさんさんの連携事業を手掛けてきました。そのひとつに、福島大学の某教授が発見した「新酵素」の存在がありました。この酵素が、ものすごい洗浄力を持つことが解り、その新酵素をバイオ技術を駆使して大量培養し、新しい医療用洗浄剤の開発と共に、専用洗浄機も開発して、セット販売しようと思ひ立ちました。

現在使用されている医療用洗浄剤は強アルカリ性のものが多く、アルミ製の医療機器やガラス製品を痛めてしまうなど、取扱いが非常に難しく、人体にも

良くありません。

これに対し、この酵素洗浄剤は、微生物から発見した生物由来ですから、人や環境にも優しく、さらに国際的な洗浄基準値を最高レベルでクリアできる洗浄力を持っています。

この新酵素を使い、大学やバイオベンチャー、食品メーカーと連携し事業に取り組むプランをたてました。

▼ビジネスプラン、今後の展望

日本国内における洗浄剤市場はまだまだ小さいのですが、今後欧州のような厳格な洗浄基準が義務付けられる可能性が高く、そうなれば今の市場が急激に拡大する可能性があります。

今後の市場規模拡大を見据え洗浄剤と専用洗浄機をセットにした「医療用洗浄システム」を国内外に展開しようと考えています。

「良い物は必ず報われる」を信念に、産学官の連携をベースにもものづくりを進め「群馬発の技術と製品を世界へ」を合言葉に頑張っ

所在地／高崎市倉賀野町2454-1
連絡先／TEL027-320-2800
URL／http://www.adtex.com/